

令和6年12月27日

都道府県医師会
介護保険担当理事 殿

日本医師会常任理事
江澤 和彦
(公印省略)

「介護現場における生産性向上推進フォーラム」の開催について

厚生労働省では、これまで介護サービス事業における生産性向上に資するガイドラインをはじめとし、関連ツールの策定、自治体を単位とする介護現場革新会議ならびに介護生産性向上総合相談センターの設置の推進、また介護ロボットの開発・実証・普及のプラットフォームの構築等によりテクノロジーの普及に向けた支援等を行っております。令和6年度補正予算においても、テクノロジーの活用等により介護現場の生産性向上の取組がさらに加速化させるための支援策を計上する等、さらに力を入れられているところです。

こうした取組を継続し、介護分野における更なる生産性の向上を図ることを目的に、厚生労働省では、令和6年度「介護現場の生産性向上に関する普及加速化事業一式」（委託：株式会社エヌ・ティ・ティ・データ経営研究所）を実施しているところですが、今般、介護現場の皆様が生産性向上に取り組む契機として、「介護現場における生産性向上推進フォーラム」が開催されることとなりましたので、情報提供いたします。申込方法やプログラム等の詳細は、別添をご参照ください。

つきましては、貴会におかれましても本件についてご了知の上、郡市区医師会および会員への周知方につきご高配を賜りますようお願い申し上げます。

記

(添付資料)

・介護保険最新情報 Vol.1341

「介護現場における生産性向上推進フォーラム」の開催について（令6.12.24 厚生労働省老健局高齢者支援課 介護業務効率化・生産性向上推進室 事務連絡）

以上

各都道府県介護保険担当課（室）
各市町村介護保険担当課（室）
各介護保険関係団体 御中

← 厚生労働省 老健局 高齢者支援課

介護保険最新情報

今回の内容

「介護現場における生産性向上推進フォーラム」
の開催について
計10枚（本紙を除く）

Vol.1341

令和6年12月24日

厚生労働省 老健局 高齢者支援課

【 貴関係諸団体に速やかに送信いただきますよう
よろしく願いいたします。 】

連絡先 TEL：03-5253-1111（内線 3876）
FAX：03-3595-3670

事務連絡
令和6年12月24日

各 都道府県介護保険担当課（室）
各 市区町村介護保険担当課（室） 御中
介護保険関係団体

厚生労働省 老健局高齢者支援課
介護業務効率化・生産性向上推進室

「介護現場における生産性向上推進フォーラム」の開催について

厚生労働行政の推進については、平素から格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

既にご承知のとおり、我が国では現役世代の人口が減少し、介護人材の確保が困難になる状況下において、介護分野の生産性の向上を図ることが喫緊の課題となっております。

このため、厚生労働省では、これまで介護サービス事業における生産性向上に資するガイドラインをはじめとし、関連ツールの策定、自治体を単位とする介護現場革新会議ならびに介護生産性向上総合相談センターの設置の推進、また介護ロボットの開発・実証・普及のプラットフォームの構築等によりテクノロジーの普及に向けた支援等を行ってまいりました。令和6年度補正予算においても、テクノロジーの活用等により介護現場の生産性向上の取組がさらに加速化させるための支援策を計上する等、さらに力を入れているところです。

こうした取組を継続し介護分野における更なる生産性の向上を図ることを目的に、令和6年度「介護現場の生産性向上に関する普及加速化事業一式」を株式会社エヌ・ティ・ティ・データ経営研究所に委託して実施しています。

今般、介護現場における生産性向上の取組への気運を盛り上げ、介護現場の皆様が生産性向上に取り組む契機として「介護現場における生産性向上推進フォーラム」を開催いたします。本フォーラムの趣旨についてご理解いただくとともに、管内介護事業所及び会員事業所に情報提供いただき、参加勧奨いただきますようお願いいたします。

また、介護現場の生産性向上の推進について、地方公共団体や介護保険関係団体にも大きな期待が寄せられている現状も鑑み、皆様におかれましても、本フォーラムに積極的にご参加いただくようお願いいたします。

記

1. 期日 : 大阪会場 令和7年3月12日(水)
場所…コングレコンベンションセンター(大阪府)
東京会場 令和7年3月17日(火)
場所…ベルサール半蔵門
※ 地域により日程が異なります。詳細は「開催要綱」をご参照ください。
2. 実施方法 : 現地及びWEBのハイブリッド式
※現地では介護テクノロジー機器の展示等を併せて実施します。
3. 主な対象者 : 介護サービス事業所の経営者層・職員、自治体の職員、介護業界団体の職員等の介護現場における生産性向上にご関心のあるすべての方
4. 申込みサイト : https://biz.nikkan.co.jp/form/ntt_forum/

※ 申込方法やプログラムは「開催要綱」をご参照ください。

【担当】

厚生労働省老健局 高齢者支援課

介護業務効率化・生産性向上推進室(秋山、長谷田、土本、瀬口)

TEL : 03-5253-1111 (内線 3876)

※フォーラムに関するお問い合わせは、以下の連絡先までお願いいたします。

「介護現場における生産性向上フォーラム」運営事務局(日刊工業新聞社内)

TEL : 03-5644-7487 (電話対応時間 平日 10:00~17:00)

E-mail : kaigo@nikkan.tech

介護現場における 生産性向上推進フォーラム

2024

対面・WEB形式

大阪

3/12

水

東京

3/18

火



本フォーラムは、事業所の職場環境の改善、職員の定着・確保、ケアの質の向上等を図るために、介護現場における生産性向上について、基本的な考え方や事業所・自治体の取組を知りたい、国の動向を知りたい方に特におすすめです！

開催概要

介護現場における生産性向上の取組を更に普及し、生産性向上の取組に対する気運を高める目的で、全国2か所でフォーラムを開催いたします。

本フォーラムでは、生産性向上の取組を実施している介護サービス事業所による講演及び報告を中心として、自治体による生産性向上の取組に対する支援事業の報告や、生産性向上の取組を実施するためのポイント解説、また、介護ロボット・ICTの紹介を行います。

なお、本フォーラムは全て会場とWebのハイブリッド形式で開催いたします。

開催日程・場所

大阪会場

2025.3.12 (水) **コングレコンベンションセンター**

13:00~17:30

大阪府大阪市北区大深町3-1
グランフロント大阪 北館 B2F

定員 会場 300名
Web 3,000名

申込期限 2025
3.7 (金)

東京会場

2025.3.18 (火) **ベルサール半蔵門**

13:00~17:30

東京都千代田区麹町1-6-4
住友不動産半蔵門駅前ビル2F

定員 会場 300名
Web 3,000名

申込期限 2025
3.14 (金)

※ 定員数に達した場合は申込期限を待たずに締め切らせていただく場合がございますので、お早めにお申込みください。

プログラム

- 1 開会挨拶
- 2 厚生労働省による施策動向の紹介
- 3 生産性向上の取組の考え方とポイント
- 4 介護テクノロジー開発企業による機器紹介
- 5 「介護職員の働きやすい環境づくり内閣総理大臣表彰・厚生労働大臣表彰」
受賞事業所による取組報告
- 6 ケアプランデータ連携システムによる生産性向上の取組事業所の発表
- 7 パネルディスカッション
- 8 介護テクノロジー開発企業による機器紹介
- 9 都道府県等の取組支援状況報告
- 10 事務連絡
- 11 閉会

※予告なくプログラムが変更となる場合がございます。予めご了承ください。



参加方法

申込は公式サイト/申込フォームにて

公式サイト



[https://kaigo-seisansei.com/
forum2024/](https://kaigo-seisansei.com/forum2024/)

申込フォーム



[https://biz.nikkan.co.jp/form/
ntt_forum/](https://biz.nikkan.co.jp/form/ntt_forum/)

- 個人情報の利用目的：ご登録いただいた情報は、本フォーラムに関するご案内・ご連絡、本フォーラムの参加登録、本フォーラムに関するアンケートのご依頼、アンケート結果から統計資料の作成、関連事業のご案内のために利用いたします。
- 個人情報の取扱いについて：ご登録いただいた情報は厚生労働省の個人情報保護方針に従い取扱います。
厚生労働省個人情報保護方針 (<https://www.mhlw.go.jp/kojinjouhouhogo/index.html>)
- 個人情報の取扱いの委託について：本事業は株式会社NTTデータ経営研究所に委託しており、本フォーラムの事務局は株式会社NTTデータ経営研究所の指揮のもと、運営を株式会社日刊工新聞社に委託しています。委託先は個人情報保護の観点から選定し、秘密保持の契約を交わしております。

お問い合わせ先

「介護現場における生産性向上フォーラム」運営事務局

TEL 03-5644-7487 (電話対応時間 平日10:00~17:00)

E-mail kaigo@nikkan.tech

厚生労働省 令和6年度 介護現場の生産性向上に関する普及加速化事業
介護現場における生産性向上推進フォーラム 開催要綱

1. 開催概要

全世代型社会保障構築会議における「介護の生産性・質の向上(ロボット・ICT活用、協働化・大規模化の推進等)」や令和6年度介護報酬改定における「良質な介護サービスの効率的な提供に向けた働きやすい職場づくり」に関する加算等、介護現場における生産性向上への注目が更に高まっている中、本フォーラムでは、生産性向上に関する最新の政策及び先進的な取組を共有することで、介護サービス事業所における取組の実施ならびに自治体等の取組の支援を促し、介護分野における生産性向上の取組に対する気運を盛り上げることを目的として実施いたします。なお、本フォーラムは全て会場とWebのハイブリッド形式で開催いたします。

開催期間	2025年3月12日(大阪)、2025年3月18日(東京)
開催地域	介護現場における生産性向上推進フォーラムを東京、大阪の2会場で開催します。 ※開催地の詳細は「2. 開催日時」をご覧ください ・大阪会場(開催地:大阪府大阪市) ・東京会場(開催地:東京都千代田区)
開催方法	・ハイブリッド開催(会場とオンライン)
対象者	【対象者】 介護現場における生産性向上にご関心のあるすべての方 <想定する対象者について> ・介護事業所の「経営者層」及び「介護従事者」 ※ 経営者層:介護現場を取り巻く環境、介護テクノロジーの導入、介護人材の定着・確保、介護サービスの質向上等に興味関心があり、介護現場の運営に意思決定ができる方 ※ 介護従事者:介護現場でのケアの質向上、ICTの効果的な活用や働きやすい職場環境作りに興味関心がある方 ・自治体の職員 ※ 自治体職員:生産性向上に係る関係部署にいらっしゃる方 ・介護生産性向上総合相談センター等の支援機関の職員 ・介護業界団体の職員 等
定員	会場参加 …各会場300人 オンライン …各会場3,000人
費用	無料
申込方法 申込期限	「2. 開催日時・申込」をご覧ください。 ※ 期日までにお申込みができない場合は、事務局までご相談ください。
セミナー 当日 参加方法	【会場】 ・直接会場にお越しください。 【オンライン】 ・「Zoom」での開催を予定しています。 ・申込者には、後日、お申し込みいただいたメールアドレス宛に、招待 URL をお送りします。 ・開催時刻の10分前になりましたら、招待 URL をクリックしてご参加ください。 ・招待 URL はセミナー開催時刻の30分前よりご入室可能です。

<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> 参加者には後日実施する「事後アンケート」にご回答いただきます。詳細は、参加申込後にご案内いたします。 本セミナーに関し、ご不明点がある方は下記【お問合せ窓口】までご連絡ください
<p>お問合せ 窓口 (事務局)</p>	<p>「介護現場における生産性向上フォーラム」運営事務局 TEL:03-5644-7487(電話対応時間 平日 10:00~17:00) E-mail: kaigo@nikkan.tech</p>

「フォーラム告知サイト」

URL: <https://kaigo-seisansei.com/forum2024/>



二次元バーコード(フォーラム告知サイト)

2. 開催日時及び申込み期限

・下記のいずれかの開催回にお申し込みください。

地域	開催場所	開催日時	申込期限
大阪会場	コングレコンベンションセンター (大阪市北区大深町 3-1 グランフロント大阪 北館 B2F) URL: https://www.congre-cc.jp/access/	2025年3月12日 (水) 13:00-17:30	2025年3月7日 (金) 17:00
東京会場	ベルサール半蔵門 (東京都千代田区麴町 1-6-4 住友不動産半蔵門駅前ビル 2F ベルサール半蔵門) URL: https://www.bellesalle.co.jp/shisetsu/iidabashi/bs_hanzomon/	2025年3月18日 (火) 13:00-17:30	2025年3月14日 (金) 17:00

3. 申込方法

下の「参加申込フォーム」よりお申し込みください。

「参加申込フォーム」

URL: https://biz.nikkan.co.jp/form/ntt_forum/



二次元バーコード(参加申込フォーム)

- ※ 参加申込フォームの送信ができない場合は、事務局までご連絡ください。
- ※ 参加申込フォームへのアクセスが難しい場合は、URLをWebブラウザのアドレスバーにコピー&ペーストを行うことでアクセスできる可能性がございます。または二次元バーコードを読み取りください。

4. プログラム(予定)

【大阪会場】

項目	時間	内容
開場	12:00	介護現場の生産性向上に効果があると認められる機器・ソフトウェアの出展が御覧いただけます。
開会挨拶		
1. 政策動向説明	13:00-13:15 (15分)	主催者挨拶 厚生労働省
2. 講演 生産性向上の取組の考え方とポイント	13:15-13:45 (30分)	生産性向上の取組の考え方とポイント 株式会社 TRAPE 代表取締役社長 鎌田 大啓氏
3. 企業による機器紹介	13:45-14:05 (20分)	介護テクノロジー開発企業による機器紹介 (出展企業へのインタビュー)
休憩	10分	—
4. 講演 介護職員の働きやすい職場環境づくり内閣総理大臣表彰・厚生労働大臣表彰 受賞事業所による取組報告	14:15-15:00 (45分:各事業所 15分程度)	「介護職員の働きやすい環境づくり内閣総理大臣表彰・厚生労働大臣表彰」の受賞事業所(登壇事業所) ・特別養護老人ホーム六甲の館 ・特別養護老人ホームゆめあまみ ・特別養護老人ホームかるべの郷さざんか
5. ケアプランデータ連携システムによる生産性向上の取組事業所の発表	15:00-15:30 (30分:各事業所 15分程度)	ケアプランデータ連携システムによる取組事業所による取組紹介 ・ゆうらいふ 居宅介護支援事業所 ・株式会社279
6. 登壇者による パネルディスカッション	15:30-16:10分 (40分)	登壇者によるパネルディスカッション (厚生労働省、表彰事業所、ケアプランデータ連携事業所)
7. 企業による機器紹介	16:10-16:30 (20分)	介護テクノロジー開発企業による機器紹介 (出展企業へのインタビュー)
休憩	10分	—
8. 都道府県等の取組支援状況報告	16:40-17:20 (40分)	都道府県等における取組支援の具体例や支援におけるポイントをシンポジウム形式で共有
9. 事務連絡	17:20-17:30 (10分)	フォローアップセミナーの取組報告 事務連絡(事務局)
閉会挨拶		
閉場	18:00	介護現場の生産性向上に効果があると認められる機器・ソフトウェアの出展が御覧いただけます。

※会場には、介護ロボットやICT機器等の展示・体験スペースを設ける予定です。

【東京会場】

項目	時間	内容
開場	12:00	介護現場の生産性向上に効果があると認められる機器・ソフトウェアの展覧が御覧いただけます。
開会挨拶		
1. 政策動向説明	13:00-13:15 (15分)	主催者挨拶 厚生労働省
2. 講演 生産性向上の取組の考え方とポイント	13:15-13:45 (30分)	生産性向上の取組の考え方とポイント 株式会社 TRAPE 代表取締役社長 鎌田 大啓氏
3. 企業による機器紹介	13:45-14:05 (20分)	介護テクノロジー開発企業による機器紹介 (出展企業へのインタビュー)
休憩	10分	—
4. 講演 介護職員の働きやすい職場環境づくり内閣総理大臣表彰・厚生労働大臣表彰 受賞事業所による取組報告	14:15-15:15 (60分:各事業所15分程度)	「介護職員の働きやすい環境づくり内閣総理大臣表彰・厚生労働大臣表彰」の受賞事業所(登壇事業所) ・特別養護老人ホーム 六甲の館 ・特別養護老人ホーム悠西苑 ・介護付きホームメッツ長岡 ・ヤザキケアセンター紙ふうせん
5. ケアプランデータ連携システムによる生産性向上の取組事業所の発表	15:15-15:30 (15分)	ケアプランデータ連携システムの取組事業所による取組紹介 ・株式会社トライドマネジメント
6. 登壇者によるパネルディスカッション	15:30-16:10分 (40分)	登壇者によるパネルディスカッション (厚生労働省、表彰事業所、ケアプランデータ連携事業所)
7. 企業による機器紹介	16:10-16:30 (20分)	介護テクノロジー開発企業による機器紹介 (出展企業へのインタビュー)
休憩	10分	—
8. 都道府県等の取組支援状況報告	16:40-17:20 (40分)	都道府県等における取組支援の具体例や支援におけるポイントをシンポジウム形式で共有
9. 事務連絡	17:20-17:30 (10分)	フォローアップセミナーの取組報告 事務連絡(事務局)
閉会挨拶		
閉場	18:00	介護現場の生産性向上に効果があると認められる機器・ソフトウェアの展覧が御覧いただけます。

※会場には、介護ロボットやICT機器等の展示・体験スペースを設ける予定です。

5. 出展企業(予定)

NO	企業名	機器名	分野
1	マッスル株式会社	ROBOHELPER SASUKE	移乗支援
2	シーホネンス株式会社	リコロール	
3	株式会社 FUJI ※1	Hug	
4	パナソニック株式会社	歩行トレーニングロボット	移動支援
5	DFree 株式会社	排泄予測デバイス DFree	排泄支援
6	株式会社金星	ピュアット	入浴支援
7	積水ホームテクノ株式会社 ※2	ウェルスリフトキャリーチルト (WLC-T)	
8	コニカミノルタ QOL ソリューションズ 株式会社	HitomeQ ケアサポート	見守り・コミュニケーション
9	パラマウントベッド株式会社	眠り CONNECT 眠り SCAN 眠り SCAN eye タイムスタディアプリ「とき KANRI」 サニタリー利用記録システム(トイレセンサー)	
10	株式会社最中屋	ハカルト	
11	ND ソフトウェア株式会社	「ほのぼの」シリーズ	介護業務支援
12	アイコム株式会社※1	インカム	
13	セントワークス株式会社 ※2	介護保険請求ソフト SuisuiRemon	
14	株式会社 Moff※2	モフトレ	機能訓練支援
15	TANOTECH 株式会社※1	モーショントレーニングツール TANO	
16	アーバン警備保障株式会社 ※1	iTSUMO3	認知症生活支援・認知症ケア支援
17	PLIMES 株式会社 ※2	ウェアラブル嚥下計 / 摂食嚥下 モニタリングサービス「GOKURI」	食事・栄養管理支援

※1 大阪会場でのみの出展

※2 東京会場でのみの出展